

平成 27 年度事業計画(平成 27・4・1～平成 28・3・31)

【基本方針】

八王子市は市の基本構想「八王子ビジョン2022」において「協働のまちづくり」を目標の一つに取り上げています。我々協議会としても、この構想に全面的に賛成であり、会員の皆さんや多くの市民活動団体、市民の皆さんとともに、この構想実現に向けて一層の努力をしていきます。

更に、平成 27 年 4 月から八王子市は東京都で唯一の中核市になりました。多くの権限移譲があり、独自の行政運営がなされることと思われますが、市民活動への影響も見極めながら協議会としても対応していきたいと考えています。

平成 27 年度は八王子市市民活動支援センター運営を受託して 5 年目の年となります。10 年契約の中間見直しが求められています。母体の協議会もしっかりと中期計画の見直しが必要です。

協議会自主事業については次の4点に重点を置き、活動していきます。

(1) イベント等の推進

1) 従来からのイベント等は原則として継続実施します。

各部および特別プロジェクトで実施しているイベントや企画は、それぞれの部会を通じて継続して実施します。ただし、特別企画のプロジェクト等はその目的達成がなされた場合は、理事会へ諮って終結します。実行委員会方式で進めている「わくわく広場」、「お父さんお帰りなさいパーティー」や「NPO八王子会議」については、従来通り主体団体として活動の推進を図ります。

国立東京工業高等専門学校(以下:東京高専)「サイエンスフェスタ」、「井戸端会議」「市民活動交流パーティー」等の事業については多くの市民活動団体の協力を得ながら、さらなる発展を期して進めてまいります。一昨年度から受託した「はちおうじ志民塾」については受講生の満足を得られるよう企画運営していきます。

2) 新規イベントの取組

オトパに関しては「オトパ in 南大沢(仮称)」開催をプロジェクトとして取り組みます。花と緑のイベント等外部のイベントに支援センターと共同で出展し、市民活動を PR します。

(2) 会員の協議会活動への参画を促進します。

会員は団体・個人を問わず、協議会の諸活動に参画していただくべく、毎年努力していますが、なかなか、成果が出ていません。これから会員増、諸活動の活性化を考えると具体的な成果につながるような会員の活動参画を企画実施しなければなりません。今年の重点目標としてこの課題を取り上げ、各部会やプロジェクトの活動を推進していく中で、工夫を凝らし、実現に向けて最大限の努力を致します。

(3) 中期計画の見直し策定

支援センター事業の中間見直しと並行して協議会の中期計画をすすめます。

(4) 新規事業

糸グループを中心に高齢者福祉分野での協議会の活動を検討・実施に移します。

東北との連携、コワーキングスペース運営等の検討を行います。

【1】支援センター事業

事業基本方針

八王子市では、平成27年4月より中核市として新たな市政がスタートし、これからさらに進行する少子高齢化社会に対応した施策が求められていますが、そこには自立した社会、地域自治、住民自治の原点となる市民力、地域力の結集が必要です。

八王子市市民活動支援センター(以下、支援センター)は、社会貢献、地域活動の担い手である市

民や団体が気軽に立ち寄れる情報交換・交流・作業の場であり、同時にNPO団体に求められる、基盤強化による継続性や信頼性向上のため、人、物、資金、情報など様々な活動資源の提供や相談対応による活動サポートセンターです。こうした中間支援施設としてのコーディネート機能を活かし、これから社会環境に対応した効果的で具体的なサービスで、当年度も引き続き自立した市民力、地域力向上のお手伝いをしていきます。

平成27年度は、下記重点目標をもとに具体策に取り組みます。

重点目標

- I. 市民やNPOの自発的、自立的地域貢献活動をサポートします。
- II. 市民協働のまちづくりを担うNPOの活動を支援します。
- III. 多様なセクターとの連携や地域活動総合情報サイト構築で地域力、市民力向上を図ります。
- IV. NPO団体の基盤強化による持続性や信頼性の向上により、NPOを社会が支える環境づくりを目指します。
- V. 支援センターの効果的サービス機能の向上に努めます。

1. 機能の充実と強化

- ①NPOの“プラットホーム”的存在として、相談、コーディネート機能等の能力アップにより、社会ニーズに対応できる中間支援施設として一層の充実を図ります。
- ②中間支援施設として、市民、NPO、地縁組織、大学、企業、行政等、多様なセクターとの連携や地域活動総合情報サイト構築により、効果的な情報収集、発信を行います。
- ③NPO活動の基盤強化や信頼性向上、地域資源の有効活用を目的として「NPOパワーアップ講座」や「ゆめおりファンド」事業を効果的に推進します。
- ④支援センター利用の方々の顧客満足度の向上を図ります。
- ⑤支援センタースタッフの教育研修と人材育成に努めます。
- ⑥業務の改善と効率的運営で経費の節減に努めます。

2. 企画運営会議

支援センターは、NPO法人八王子市民活動協議会(以下、協議会)と四半期毎に1回、企画運営会議を開催し、効果的な事業推進を討議し、中間支援施設として、協議会と連携し、地域の市民活動を取り巻くニーズに対応した中長期的、未来志向の企画運営会議を行います。

3. 情報セキュリティー委員会

個人や団体の情報を預かる支援センターはその情報の保護管理に大きな責任があるとの認識から、支援センターパーソン情報保護方針に基づき、情報セキュリティー委員会を定期的に開催します。また、毎年、外部監査人による監査と共に、スタッフを対象にした教育研修会を実施し、法令及び情報セキュリティマニュアル等の遵守を徹底します。

4. 八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E)への対応

八王子市が推進する八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E 第3ステージ)に、中間支援施設としてのコーディネート機能で対応します。また、講師を招いた環境マネジメントシステム研修会等を実施し、スタッフの環境知識習得、意識の向上、業務の改善を図ります。

5. 相談事業

相談業務に当っては、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な考え方とともに、相談内容の高度化やニーズの多様化への準備、タイムリーな対応能力向上のため、外部研修、現場体験、OJTを通して、スタッフの専門知識、情報処理能力、人的ネットワークをアップする人材育成を行います。また、専門相談には、外部団体と連携して対応します。

6. NPOの基盤強化支援の充実

団体の基盤強化、信頼性の向上は市民活動が活性化し、社会的認知を高めて行くためには避けて通れず、その自立支援を強化します。具体的には団体運営の基本等、実務能力向上に向けた講座を

充実します。また、協議会と連携して、NPO活動における人財支援の準備を進めています。

7. 新規事業への取り組み

社会的ニーズに対応したタイムリーなサービスを目指し、八王子市や協議会と連携、協働して地域活動総合情報サイトの構築やファンド事業での人財支援等、新規事業への取り組みを進めます。

8. 調査・研究事業

利用者のニーズと期待に対応したサービス向上のため、開催する諸講座の「参加者アンケート」や「市民満足度調査」等の結果を集計、分析し、事業の効果的推進に役立てます。また、必要に応じ、NPO活動の実態やニーズ把握のため、今後のNPO活動支援に資する研究やアンケートの実施を検討します。

9. 施設運営管理

掲示ボード、パンフレットラック、書籍、グリーンファイル、諸研究資料等閲覧コーナー、備品、会議室、印刷コーナー等を効果的に管理し、利用者の利便性や満足度の向上を図ります。

10. 施設の安全、危機管理体制

支援センターは不特定多数の市民や団体の方々に多数利用頂いていることから、ビル管理会社の管理指導のもと、消防法に定められた自衛消防訓練への参加や防火教育研修等に参加して危機管理能力を高め、施設利用者の安全確保等、安全管理体制を整備します。

11. モニタリング制度への取り組み

指定管理施設に対する八王子市のモニタリング事業評価制度への対応について、委託契約業務の遂行はもとより、その他、独自の年度計画事業の効果的推進により、利用者評価に耐えうる施設運営、サービス提供に務めます。また、評価結果はこれを真摯に受け止め、スタッフで共有、市民サービスの向上、施設運営管理に効果的に活かします。

12. 総務部計画

- ①平成27年度事業報告書作成
- ②平成28年度事業計画書、予算計画書作成
- ③後期(平成28年～平成32年)の事業計画書作成
- ④「地域参加支援に関する情報交換会」への参加
- ⑤「6市・市民活動連絡会」への参加
- ⑥専門相談、NPO経営支援アドバイザー派遣制度の運営
- ⑦大学インターンシップ制度への協力
- ⑧市内中学校職場体験への協力
- ⑨支援センター視察・見学訪問者の受け入れ
- ⑩市民活動フェスティバルの開催
- ⑪各団体、関係先講座、委員会等への講師派遣
- ⑫スタッフ研修の企画、実施

13. 広報部計画

(1)掲載方針

広報紙「SUPPORT802」の基本的な編集方針を「団体自身への支援」、「団体の広報活動の支援」、「市民に向けたNPO活動の啓発」、「センター業務の周知」の4本の柱として様々なセクター(市民、市民活動団体、大学、企業、行政等)の想いや活動状況、助成金情報、啓発情報及び支援センター事業紹介等を掲載し紙面づくりを行ないます。

(2)紙面装丁の改善

文字、写真、図表、イラスト等での表現の効果的なレイアウト、フォントの統一などによって、手に取って読んでもらえる紙面づくりを目指します。

(3) 広報部会と編集会議の運営

広報部会と編集会議を、多様な視点が活かせる会議とするため、フリートークを通して団体や地域活動の紹介など取り上げるテーマ、内容を絞り込んでいきます。

(4) アンケート

読者ニーズを把握し、手にとって読んでいただける紙面づくりのため、毎年1月の広報紙発送に合わせ、読者へのアンケートを実施し次年度編集に活かすデータとします。

14. 啓発部計画

啓発部では今期、下記講座を実施します。

講座名	目的・内容	回数/年	対象
アクティブ市民塾	団体の活動紹介・交流	12回/年	市民と団体
実践講座 (スキルアップ講座)	NPO活動のための情報提供、レベルアップ	1回/年	市民と団体
支援講座	NPO交流会	1回/年	団体
	NPOめぐりツアー	1回/年	団体と市民
NPOパワーアップ講座	団体の運営基盤強化	8回/年	団体
IT講座	団体のITスキル、発信力の強化	1回/年	団体

(1) アクティブ市民塾

第1回開催から毎月1回開催して当年度は13年目となります。市民の方が気軽に参加することで市民活動や支援センターを知っていただき、参加団体には、その活動の発信や、自らを再確認できる良い機会として位置づけ、多様な団体を取り上げていきます。

(2) 実践講座(スキルアップ講座)

主に団体を対象に活動のレベルアップや活性化の手法、新しい視点やニーズに対応した活動の情報提供等を中心とした講座を目指します。

(3) NPO交流会

NPO交流会は、地域、同分野、異分野の交流で情報交換や課題を共有することによって自団体の活性化や、新たな活動の連携、広がりのきっかけづくりとして開催します。

(4) NPOめぐりツアー

八王子の一つの特性である農地、農家にスポットを当てた企画を検討します。近年その手法も援農、福祉、健康、教育、営利事業など多様であり、様々な市民の方々の関心の高まりも見られることから、農業への取り組みを団体ツアーメぐりで紹介し、市民や団体双方の気付きやきっかけづくりとして実施します。

(5) NPOパワーアップ講座

NPOに引き続き求められる運営基盤強化による、継続性や信頼性、発信力の向上を目的とした講座です。団体の運営基盤強化にはミッション、運営体制、事務局機能、発信力、人材、資金等さまざまなものが求まられており、引き続きこうしたテーマをベースに社会のニーズや、新しい視点も取り入れたカリキュラムを準備します。特に当年度は、活性化した団体を目指すための会員の意識、モチベーションに焦点をあてた講座も検討します。

(6) IT講座

ITを活用した実務、情報発信は市民活動に欠かせない必須のスキルとなっています。しかし、必ずしも団体の活動実態に合ったスキルが十分備わっているとは言えません。当年度は、一定の技術

レベルを合わせた団体関係受講者を募集し、即実践に活用できる講座とします。

15. 情報部計画

(1) ホームページの改善と効果的運用

効果的な情報の提供、団体情報の発信代行等をさらに充実すると共に、見易さ、利用し易さを主眼としたサイト画面作りに努めます。また、啓発部ページの新設、ゆめおりファンドコーナーの改善を行うとともに、八王子市が準備を進めている地域活動総合情報サイトとの関連も考慮しながら効果的運用を行います。

(2) 地域活動総合情報サイト構築

八王子市が平成28年1月から予定している地域活動情報総合サイトの初期段階として、支援センターのホームページを使用して開設する準備が進められており、支援センターもプロジェクトチーム組んで積極的に協力し、利用していただける効果的なサイトを目指します。

(3) 情報セキュリティーの適切な管理

個人情報保護方針や情報セキュリティマニュアルに基づき適切な管理を行います。

(4) システム、ネットワーク環境の維持管理

システム&ネットワークLANの維持管理、サーバーの定期的にバックアップを確実に実施するとともに、タイムリーなIT関連情報をスタッフで共有し迅速で効果的な対応を行います。

16. ファンド部計画

(1) 物の支援

- ① 寄付元企業・団体の開拓のため、多摩地区を含めた地元企業を中心に訪問し、ファンド事業趣旨への理解と協力を依頼するとともに、今後の事業展開に向け、企業、人脈のネットワーク構築を進めます。
- ② 団体ニーズを把握するため、団体ニーズ調査を行い、また、ファンド利用促進を図るためホームページのファンドコーナーの改善を行います。

(2) 団体の支援

参加団体開拓のため、立ち上げ初期で支援を必要としている団体、あるいは、これから団体を立ち上げたいと活動している個人にも焦点を当て、将来の顧客としての支援対象とすることを検討します。また、既登録団体には引き続き認証レベル引き上げ促進の情報発信を行っていきます。

(3) ゆめおりファンド認証

前年度開始した認証盾制度の信頼性確保のため、認証確認作業を進め、引き続き登録促進を図ります。

(4) 規定・基準・帳票類見直し再整備

的確、効果的な事業推進のため、規程・基準・帳票関係の見直し、体系化をすすめ、月報、市への年次報告作成を正確かつ効率的に行います。

(5) パンフレットの作成

ファンド事業開始時に作成した事業促進パンフレットの在庫がなくなったため、当年度内容見直しと合わせ、新たなパンフレットを作成します。

【2】協議会自主事業

1. 総務部・事務局

協議会は近来各種活動を活発に繰り広げてきました。将来構想の見直し等も必要になっています。事務局はこれらの活動のかじ取り役として重要性が増しています。直接担当としてもイベント以外に、

助成金窓口、創業サポート事業窓口等も増えてきました。事務局のあり方、人員、組織の見直しを行います。

(1)会員管理

会員管理としては①会員を増やす。②会員に協議会活動に参画していただく③会員とのコンタクト機会を増やす等があります。

① 会員増強

協議会が関連している講座・イベントの参加者の中で協議会に関心をお持ちと思われる方に協議会入会をお願いすることがあります。協議会の一面に触れていただいているので樊めやすいと思います。更に②と組み合わせると効果的です。志民塾生、志民塾センター、オトパ実行委員、わくわく広場参加団体の会員等は対象候補です。

② 協議会活動に参画していただく

支援センターは各分野でセンター制をとっています。協議会としては理事以外の会員に事務局をサポートしていただく、プロジェクトに参画していただく、イベントを応援していただく等の活動を考慮しています。

③ 団体会員とのコンタクトルート

NPO 八王子会議等の準備に際し団体会員と面談し、アンケートに答えていただきました。各種イベント開催時に手分けして電話勧誘をしています。これらを地域単位で理事に担当して戴くことにより、同じ相手とコンタクトでき、親しみが深まると考えられます。

(2)事務局の増員・役割分担

広報、会計、プロジェクトは分担が決まっていますが、それ以外のイベントは担当が決まっていません。実施にあたっては全員の協力が必要ですが、今年度は担当を決めていきたいと思います。そのためには理事以外のメンバーの増員も考えたいと思います。

(3)その他

経理業務、ホームページ業務等専門知識を要する業務へのセンターを考えていきたい。

2. 広報部

広報部全体としては、利用者の視点に立ったより双方向な広報活動になるように努力していきます。

(1)協議会だより

これまで紙面をオールカラーにするなど、より読みやすく親しみやすい協議会だよりを目指してきました。今年度も引き続き読みやすい紙面になるよう工夫するのは勿論のこと、会員に役立つ情報の掲載や、相互のコミュニケーションツールにも利用できるような協議会だよりを目指していきます。現在 1500 部の発行部数を 2000 部に増やし、今より多くの公共施設や関連施設、店舗などで配布してもらうようにします。今年度も毎偶数月(6月、8月、10月、12月、2月、4月)の1日に発行予定です。

(2)ホームページ

平成 26 年度に印刷した定型版の 1 ページホームページ募集のチラシを活用して、多くの団体会員の定型ホームページを協議会のホームページに掲載していきます。それにより利用価値と利用頻度の大きいホームページとなるように心がけます。協議会が中間支援団体として身近な情報源となるようなホームページを目指していきます。

3. ネットワーク推進部

(1)お父さんお帰りなさいパーティー(略称:オトパ)

労政会館で開催のオトパに関しては、ツアーガイドのさらなる活用見直しや、参加者に好評な「団体紹介冊子」への掲載団体数の増加と協賛団体・企業数のアップも図る努力をします。広報・展示両面で更に町会関係の参画増を検討します。サブテーマの設定も検討します。

オトパ知名度向上のため通年の啓蒙活動として「HP」や「オトパ新聞」の継続発行をします。実行委員は一部共通するメンバーは据え置きますが、実働部隊としては労政会館組と南大沢組は分けてい

くことを考えています。メンバーは替わりますが、オトパは通年で取り組むことになります。

南大沢で開催するオトパに関しては南大沢地域在住者中心で検討を進めます。多摩市も巻き込む等を盛り込みたいと思います。

他地域のオトパ実施市町・団体との交流を図り運営ノウハウなどのレベルアップを図るとともに、情報を提供し、他地域でのオトパ開催をサポートすることも考えたいと思います。

(2) 東京高専 de サイエンスフェスタ

「東京高専 de サイエンスフェスタ」は東京高専が毎年実施している中学生、小学生高学年を主たる対象にしたイベントであり、協議会としても協力すべく、主に子ども関連の団体へ呼びかけ出展しております。今年も東京高専からの要請にこたえて対応を図るべく進めてまいります。

(3) 井戸端会議

八王子市子ども家庭支援センターとの共催イベント「八王子子育て支援団体ネットワーク」は前年度のプログラムを引き継ぎ、実際に団体のネットワークを活かして、子どもたちに提供するイベントを開催します。当年度 6 月ごろより団体に呼びかけ、実行委員会を立ち上げ、11 月の「いちょう祭り」にコーナーを開く予定です。

(4) わくわく広場(11 月 21 日・22 日 八王子いちょうまつり)

いちょう祭り「わくわく広場」は当年も実行委員会形式で行います。前年度の反省を踏まえ、①来場者が増えるように実行委員会でいろいろ工夫をする。②子どもたちの体験の場を増やす。を目標に当年 9 月 6 日(第1回実行委員会)より始動します。地域住民による出展による東浅川周辺全体の活性化も図ります。

4. 政策研究部

各グループの活動項目を全理事が理解した上で、グループ同士の協力やコーディネートなど、取り組む課題を協力して進めるようにします。また、グループ毎に「テーマ推進工程表」を作成して工程推進の旗振りを中期計画グループの役割とし活動を進めます。

(1) 紋グループ

平成26年度に取り上げた「八王子版・包括ケアシステム」構築を協議会として取り組む具体的課題として、「八王子版・福祉データブック」作成に取り組みます。助成金の申請も行い内容のあるものを完成させる所存ですが、助成金が取れない場合でも必要最小限の範囲で完成を目指します。さらに関係する諸事項についてもどのような取り組みが出来るか引き続き、調査研究を行います。

(2) 活動資源支援グループ

NPO団体の基盤強化、信頼性の向上に欠くことのできない活動資源である「人財」の支援について、来年度の八王子市市民活動支援センターの「ゆめおりファンド」としての事業化を目指し、八王子市にその予算化をお願いできる環境整備に着手します。人財を必要とする団体に、求められる人財をつなぐため、団体と人財の出会いの場を通して最適な関係をサポートする事業を試行します。具体的には団体と人財の出会いの場としてのワークショップの実施、社会貢献や市民活動に関心のある多様な人財のデータベース化を進めます。

(3) 新規事業開拓グループ

被災地への訪問、現状を見学し、同じ中間支援活動をしている団体との交流を計画しています。そこから、協議会として、今後八王子市が災害にあった時、NPO として、中間支援組織としてどんな活動をする必要があるのかを検討して行く予定です。

同時に、NPO のコワーキングスペース開設に向けて、ニーズの調査をしてまいります。

(4) 組織体制検討グループ

前年度からの課題を引き続き検討する中から、協議会の在り方を見出して行くべく検討していきます。また政策研究部会の他のグループの動きも考慮しつつ、課題の検討に反映させる所存であります。

(5) 中期計画グループ

中期計画グループは政策研究部の事務局的な役割りを行うグループとして、各グループの行う中期的活動の動きに呼応した他のグループへの働き掛けや協調などをコーディネートする事を目標としたいと考えます。

5. プロジェクト

(1) 志民塾

平成 26 年度の実績をベースに 27 年度も協議会へ「はちおうじ志民塾」の運営依頼が八王子市からあり、引き続き受託することになりました。概ね前年度に準ずる形での受託事業となります。昨年から都の助成金がなくなっており、今年も市の厳しい予算の中での実施となりますので、コスト削減と効率化に留意して実施して参ります。協議会だけでなく、志民塾卒塾生の協力を得て受講生から喜ばれ、また地域活動に実践的に活かせる講座となるよう、努力して参ります。

(2) 第 5 回NPO八王子会議

平成 27 年度NPO八王子会議は 5 月 24 日(日)八王子労政会館において、「あなたの想いで描く八王子の未来地図を描く」をテーマにフューチャーセッションとして開催します。世界に例のない少子高齢化の進行が、すべての世代に様々な影響、課題をもたらすことが確実なこれからの中社会で、住み続けたいまちづくり、多様な生き方ができるまちづくりを、それぞれが強み弱みを補完し合いながらつくり上げていく出席者参加型のセッションを行ないます。